



## 平成23年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 サーラ住宅株式会社  
 コード番号 1405 URL <http://www.sala-house.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼総務部担当  
 四半期報告書提出予定日 平成23年6月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 水谷 九郎  
 (氏名) 熊谷 昌久  
 配当支払開始予定日

TEL 0532-32-7272  
 平成23年7月5日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年10月期第2四半期の連結業績(平成22年11月1日～平成23年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第2四半期	14,313	14.3	256	—	267	—	121	—
22年10月期第2四半期	12,520	△10.4	△233	—	△235	—	△261	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第2四半期	23.74	—
22年10月期第2四半期	△51.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第2四半期	20,938	5,514	25.3	1,039.90
22年10月期	21,516	5,426	24.2	1,022.83

(参考) 自己資本 23年10月期第2四半期 5,301百万円 22年10月期 5,214百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	5.00	—	6.50	11.50
23年10月期	—	6.00	—	—	—
23年10月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年10月期の連結業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	2.4	400	△2.3	350	△15.2	200	3.0	39.23

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年10月期2Q 5,184,000株 22年10月期 5,184,000株  
② 期末自己株式数 23年10月期2Q 86,035株 22年10月期 86,035株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年10月期2Q 5,097,965株 22年10月期2Q 5,098,099株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
施工、受注、仕入及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善等、景気に持ち直しの動きがみられ、足踏み状態を脱しつつありました。しかしながら、雇用状態の悪化懸念やデフレ継続等の景気の下振れリスクも残っており、加えて東日本大震災の発生により景気の先行きに不透明感が一気に強まりました。

住宅業界におきましては、景気の持ち直しの動きと住宅税制の優遇措置等の経済対策の効果もあって、新設住宅着工戸数は持ち直し基調が継続いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループは住まいづくりに関する総合的なサービスを展開し、人と住まいと環境における最高のクオリティの実現を目指してまいりました。また、当社グループ4社が有する技術・商材・サービス・顧客基盤等のリソースを相互に活用し、シナジー効果の最大化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,313百万円（前年同四半期比14.3%増）、営業利益は256百万円（前年同四半期は233百万円の営業損失）、経常利益は267百万円（前年同四半期は235百万円の経常損失）、四半期純利益は121百万円（前年同四半期は261百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (住宅事業)

住宅事業につきましては、分譲住宅の販売が堅調に推移したことに加え、前期に引き続き原価低減の取組み及び経費の削減が奏功し、売上高は7,118百万円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益は153百万円（前年同四半期は142百万円の営業損失）となりました。

#### (住宅部資材加工・販売事業)

住宅部資材加工・販売事業につきましては、新設住宅着工戸数の持ち直しによる建材需要の回復がみられたことから、売上高は7,194百万円（前年同四半期比17.7%増）、営業利益は85百万円（前年同四半期は83百万円の営業損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は20,938百万円となり、前連結会計年度末と比較して577百万円減少いたしました。これは主として、販売用不動産の減少によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は15,423百万円となり、前連結会計年度末と比較して665百万円減少いたしました。これは主として、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,514百万円となり、前連結会計年度末と比較して88百万円増加いたしました。これは主として、四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,026百万円減少し、3,110百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、248百万円（前年同四半期は387百万円の資金の減少）となりました。主な減少要因はたな卸資産の増加額487百万円であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、41百万円（前年同四半期は75百万円の資金の減少）となりました。主な減少要因は有形固定資産の取得による支出28百万円及び子会社株式の取得による支出9百万円であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、736百万円（前年同四半期は247百万円の資金の減少）となりました。主な減少要因は短期借入金の純減少額350百万円及び長期借入金の返済による支出332百万円であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年12月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計処理基準に関する事項の変更

##### 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ372千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は26,035千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は26,122千円であります。

#### ② 表示方法の変更

##### (四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,110,332	4,136,569
受取手形及び売掛金	3,072,405	2,936,495
未成工事支出金	423,942	514,764
販売用不動産	3,122,191	3,925,879
仕掛販売用不動産	5,575,614	4,457,952
商品及び製品	694,088	430,657
原材料及び貯蔵品	4,376	3,392
繰延税金資産	161,034	237,075
その他	296,897	350,641
貸倒引当金	△93,288	△78,209
流動資産合計	16,367,594	16,915,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	830,582	819,380
土地	2,942,333	2,942,333
その他(純額)	57,129	77,597
有形固定資産合計	3,830,045	3,839,311
無形固定資産	52,022	61,567
投資その他の資産		
投資有価証券	282,975	279,374
繰延税金資産	318,409	331,589
その他	304,447	329,072
貸倒引当金	△217,012	△240,132
投資その他の資産合計	688,818	699,904
固定資産合計	4,570,886	4,600,783
資産合計	20,938,480	21,516,002

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,809,512	5,267,276
短期借入金	5,950,000	6,300,000
1年内返済予定の長期借入金	664,800	664,800
未払法人税等	37,788	209,371
未成工事受入金	558,069	714,716
賞与引当金	131,552	234,944
完成工事補償引当金	36,166	32,682
その他	719,980	837,506
流動負債合計	13,907,869	14,261,297
固定負債		
長期借入金	338,000	670,400
退職給付引当金	938,788	922,175
役員退職慰労引当金	179,700	191,229
資産除去債務	25,741	—
負ののれん	3,846	5,770
その他	29,562	38,182
固定負債合計	1,515,640	1,827,757
負債合計	15,423,509	16,089,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018,590	1,018,590
資本剰余金	1,192,390	1,192,390
利益剰余金	3,038,788	2,950,919
自己株式	△26,764	△26,764
株主資本合計	5,223,004	5,135,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78,346	79,218
評価・換算差額等合計	78,346	79,218
少数株主持分	213,619	212,594
純資産合計	5,514,970	5,426,947
負債純資産合計	20,938,480	21,516,002

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)
売上高	12,520,477	14,313,117
売上原価	10,278,415	11,591,634
売上総利益	2,242,061	2,721,483
販売費及び一般管理費	2,475,709	2,465,423
営業利益又は営業損失(△)	△233,647	256,059
営業外収益		
受取利息	1,623	1,210
受取配当金	3,193	3,307
仕入割引	9,227	10,735
受取手数料	8,557	7,114
負ののれん償却額	2,198	1,923
その他	9,202	13,261
営業外収益合計	34,002	37,553
営業外費用		
支払利息	35,089	24,870
その他	1,087	1,268
営業外費用合計	36,177	26,138
経常利益又は経常損失(△)	△235,822	267,474
特別利益		
固定資産売却益	—	37
貸倒引当金戻入額	—	548
負ののれん発生益	—	2,010
特別利益合計	—	2,597
特別損失		
固定資産除却損	21	1,335
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,662
特別損失合計	21	26,998
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235,844	243,073
法人税、住民税及び事業税	6,959	22,523
法人税等調整額	46,473	88,497
法人税等合計	53,433	111,020
少数株主損益調整前四半期純利益	—	132,053
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△28,180	11,047
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△261,096	121,005



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235,844	243,073
減価償却費	87,134	63,015
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,662
のれん償却額	△2,198	△3,934
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,448	△8,040
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,213	△103,392
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△36,026	△11,528
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,083	16,613
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	5,429	3,483
受取利息及び受取配当金	△4,816	△4,517
支払利息	35,089	24,870
固定資産除却損	21	1,335
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△37
売上債権の増減額(△は増加)	470,150	△185,874
仕入債務の増減額(△は減少)	25,685	542,656
たな卸資産の増減額(△は増加)	△541,212	△487,567
未払消費税等の増減額(△は減少)	△93,671	△54,692
その他	△62,046	△101,919
小計	△336,985	△40,795
利息及び配当金の受取額	4,816	4,517
利息の支払額	△35,625	△23,978
法人税等の支払額	△19,356	△190,124
その他	△576	2,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	△387,727	△248,074
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,412	△28,261
有形固定資産の売却による収入	—	77
無形固定資産の取得による支出	△4,857	△400
投資有価証券の取得による支出	△1,596	△1,570
子会社株式の取得による支出	△3,220	△9,154
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△63,000	—
長期貸付金の回収による収入	3,000	—
その他	△117	△2,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,204	△41,728
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	△350,000
長期借入金の返済による支出	△332,400	△332,400
リース債務の返済による支出	△39,109	△19,857
配当金の支払額	△25,952	△33,343
少数株主への配当金の支払額	—	△833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247,462	△736,434
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△710,394	△1,026,236
現金及び現金同等物の期首残高	3,796,522	4,136,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,086,128	3,110,332

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年4月30日)

	住宅事業 (千円)	住宅部資材加工・販売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,404,944	6,115,532	12,520,477	—	12,520,477
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,550	1,168,965	1,170,515	(1,170,515)	—
計	6,406,494	7,284,498	13,690,992	(1,170,515)	12,520,477
営業損失(△)	△142,713	△83,993	△226,706	(6,940)	△233,647

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 住宅事業……注文住宅、土地付注文住宅、増改築、鉄筋・鉄骨等の請負工事、分譲住宅の販売、宅地の販売、不動産仲介料収入、代顧料収入、賃貸料収入等
- (2) 住宅部資材加工・販売事業……建築資材、住設機器等の販売、内外装・電気工事等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年4月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年4月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、住宅事業、住宅部資材加工・販売事業を行っており、当社及び連結子会社(3社)がそれぞれ戦略の立案を行い、事業を展開しております。

従いまして、当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の各会社を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「住宅事業」、「住宅部資材加工・販売事業」の二つを報告セグメントとしております。

報告セグメント別の製品及びサービスは次のとおりであります。

住宅事業……注文住宅の請負、建物のリフォーム請負、不動産の売買・賃貸借・仲介・管理等

住宅部資材加工・販売事業……建築資材・住設機器等の販売、建築付帯工事の請負、建築資材の製造等

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年4月30日)

(単位:千円)

	住宅事業	住宅部資材加工・販売事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,118,165	7,194,951	14,313,117	—	14,313,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	210	1,139,768	1,139,978	△1,139,978	—
計	7,118,375	8,334,720	15,453,096	△1,139,978	14,313,117
セグメント利益	153,802	85,799	239,601	16,458	256,059

(注) 1. セグメント利益の調整額16,458千円には、セグメント間取引消去16,414千円、のれんの償却額43千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

施工、受注、仕入及び販売の状況

##### (1) 施工実績

当第2四半期連結累計期間における施工実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	
	施工高 (千円)	前年同四半期比 (%)
住宅事業	4,160,887	91.0
合計	4,160,887	91.0

- (注) 1. 上記の金額には、土地の金額は含まれておりません。  
 2. 住宅部資材加工・販売事業につきましては、扱い品目が多種多様であり、施工実績として表示することが適切でないため記載を省略しております。  
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 4. 施工高は、原価で記載しております。

##### (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
住宅事業	9,008,028	116.1	8,024,443	104.0
合計	9,008,028	116.1	8,024,443	104.0

- (注) 1. 住宅部資材加工・販売事業につきましては、扱い品目が多種多様であり、受注高、受注残高として表示することが適切でないため記載を省略しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (3) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
住宅部資材加工・販売事業	7,425,637	116.6
合計	7,425,637	116.6

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	
	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
住宅事業	7,118,165	111.1
住宅部資材加工・販売事業	7,194,951	117.7
合計	14,313,117	114.3

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 販売高は、販売価格で記載しております。